



市長随筆



「オリーブの島づくり」を  
目ざして

「オリーブ」と言っても皆さんがまず連想されるのは、オリーブオイルではないでしょうか。また、日本の主産地である瀬戸内海の小豆島を思い浮かべる方もいらっしゃると思います。

そのオリーブの栽培に関して、1月21日、九電工と協定を締結いたしました。「天草でオリーブ?」と思われるかもしれませんが、芥明高校の校歌に「真理の森にオリーブの玉の実ひとと培えば」という一節があり、数年前に植えられたオリーブが、立派に成長しています。また、市内には、すでに栽培に取り組みされている企業もあり、全く無縁

ではないのです。

3月に入り、オリーブ栽培が、いよいよ本格的に動き出します。オリーブオイルを使った料理や化粧品の開発などに期待が膨らみますが、何より大切なことは、農家の皆さまはもとより、地区振興会などの取り組みとして、オリーブを栽培していただき、地域の活性化につながっていくことだと思っています。

天草のいたるところで、オリーブの可憐な白い花が咲き、実が育つ、「オリーブの島づくり」へと夢が広がります。

天草市長 安田 公寛



わ かつ さい  
若っ 喝采

倉田 勇介 さん (志柿町・29歳)

市内のケーブルテレビ局で、地上デジタル放送への切り替え作業など、工事の仕事をしています。趣味は野球をすること。複数のクラブチームに所属していて、試合がある日をいつも楽しみにしています。これからは、志柿に残る数少ない若者の1人として、地元にも少しでも貢献していけたらと思っています。



宝島の健康  
よさ屋

福本 タケヨ さん  
(魚貴町・83歳)

—— 毎日の楽しみは？  
浦越地域のボランティアグループ「サクラ会」で踊りを踊ることと、畑で季節にあわせた野菜を作ることです。今は、タカナやタマネギなどを作っています。雨が降って畑に行けない日は、友だちと温泉に行くのも楽しみの1つですね。

—— 健康の秘けつは？

規則正しい生活をする。畑まで自転車を10分こいで行ったり、踊りの練習で体を動かすことも健康にいいようです。あとは、何事にもくよくよせず、前向きに考えることが一番なのかもしれません。



わるい鬼をやっつけたぞ！お～！

自然や人とのふれあいの中で！

山口保育所(本渡町)

山口保育所(山田照美所長・全園児29人)は、「心身ともに健康で、明るくのびのびとした子ども」「人とのふれあいの中で、意欲的に生活や遊びを楽しむ子ども」を目ざし、異年齢児との交流や絵本の読み聞かせに力を入れています。また、近くには西の久保公園があり、園児は自然豊かな環境の中で、元気に楽しく遊んでいます。2月3日の節分豆まきでは、「なきむし鬼」・「あまえんぼう鬼」・「おこりんぼう鬼」など、心の中の弱い鬼をやっつけようとみんなで豆を投げ合い、大いに盛り上がりました。

これからも、家庭的な雰囲気の中で、人とのふれあいを大切に、明るく思いやりのある心をはぐくんでいきたいと思っています。

子どもたちの健康的な生活を  
目ざして

栖本保育所(栖本町)

栖本保育所(藤本妙子所長・全園児42人)は、大自然に囲まれた環境のもと、園児は元気に園生活を楽しんでいきます。今年も「食育」をテーマに、園児が野菜作りに挑戦。植え付けから収穫までを体験し、なかでもカリフラワーはびっくりするほど大きく成長

しました。とれた野菜を使った給食では、いつもは野菜が苦手な園児が、ゆでたてのカリフラワーをニコニコしながら食べる姿が見られ、「栽培や収穫を体験することで、食べ物へのありがたさを知るといふ、食育の大切さをあらためて感じた瞬間でした。これからも、さまざまな体験を通して、子どもたちの健康的な生活を目ざしていきたいと思っています。



カリフラワー！みんなでおいしくいただきま～す



昨年5月に行われた「相撲大会」のようす

伝統ある僕の学校

佐伊津小学校(佐伊津町)  
井立和太 さん (6年)

佐伊津小学校(全児童200人)には、相撲・サッカー・バスケット・吹奏楽の4つの部活動があり、4年生以上ががんばっています。また、相撲大会や竹馬会という昔から続いている大きな伝統行事は、僕たちの自慢です。学校内には相撲場があり、土俵に上がると神聖な場所なので緊張します。今年も、地域の人たちからの応援のもと、一人ひとりが真剣な取り組みをして、とても盛り上がりました。1月には、竹馬会がありました。竹馬に乗って長縄飛びをしたり、ドッジボールやリレーを楽しんだりしました。僕は、ドッジボールで最後まで残ることができたのでよかったです。これからも、この伝統行事を続けてほしいです。

ぼくのわたしの学校生活

あいさつと笑顔があふれる  
学校を目ざして

新和小学校(新和町)  
寺平 稜 さん (6年)

ぼくたちの新和小学校では、「天草一あいさつと笑顔があふれる新和小」を児童会のスローガンにしています。そこで、人とすれ違う時には、立ち止まって笑顔であいさつをするようにしています。始めたころは、みんな恥ずかしがっていましたが、今

では地域の人たちにも進んでできるようになりました。

また、新和小学校は食育に力を入れています。ニコニコ農園で自分たちが栽培した野菜を使って調理をしたり、食べ物の体内での働きなどについて学習したりしています。

これからも3食をしっかり食べて、元気なあいさつをみんなにふりまく学校を目ざしていきたいです。



「ニコニコ農園」で育てた桜島大根を手にする児童